



# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

## THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル  
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之  
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

### 第2462回



平成26年8月22日(金)点鐘12:30 《晴れ》  
 <千葉南RC・千葉緑RC合同ガバナー公式訪問例会>

- ◆◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

#### ◆◆お客様紹介

《国際ロータリー第2790地区》  
 ガバナー 宇佐見 透様  
 第3分区分Bガバナー補佐 林 正弘様

#### ◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

皆さん、こんにちは。  
 広島市の土砂災害や、西アフリカのエボラ出血熱ということで、アメリカの薬品会社の非公認の薬を投与したら少し良くなったというニュースがありました。  
 今日、これからガバナー、ガバナー補佐を交えてクラブ協議会がございませう。  
 いろいろと聞きたいことがありましたら、いっぱい聞いてください。ガバナーからたくさん答えが出ます。  
 それでは、宜しくお願いします。

#### ◆◆委員会報告

- 親睦活動委員会より(五十嵐 博章委員長)
- ① 10/31(金)の大島・日帰り親睦旅行の出欠を取っています。  
皆様のご参加、宜しくお願い致します。
  - ② CSRゴルフ会開催のご案内  
 日時 平成26年11月18日(火)集合 08:15  
 場所 キングフィールズゴルフクラブ  
 会費 3,000円  
 皆様、奮ってご参加下さい！

#### ◆◆幹事報告 橋口 徹幹事

- ・例会終了後にクラブ協議会がございませう。各委員長さんのご出席、宜しくお願いします。その他の皆さんも是非ご出席下さい。
- ・本日のデザートの中に入っている梨は、江沢会員のご厚意によるものです。有難うございませう！

#### ◆◆ニコニコボックス報告

《千葉緑RC会長 浅田 金誉様・会員一同様》  
 宇佐見ガバナー、林ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します。  
 千葉南ロータリークラブの皆様、本日のガバナー公式訪問、宜しくお願いいたします。懇談会、合同例会、クラブ協議会の準備等、全てお任せして申し訳ありません。本日一日お世話になります。  
 《竹尾 白会長、橋口 徹幹事》  
 ガバナー・宇佐見透様、ガバナー補佐・林正弘様、本日はご訪問いただきまして誠に有難うございませう。  
 今年度一年間、ご指導下さいませうよう宜しくお願い申し上げます。  
 《伊藤 和夫会員》  
 皆様、こんにちは。本日は、宇佐見ガバナー様、林ガバナー補佐様、千葉緑RCと千葉南RCの例会にようこそお出で下さいませう。宜しくご指導賜ります様お願い申し上げます。

|             |          |    |           |
|-------------|----------|----|-----------|
| 本日のニコニコボックス | 14,000 円 | 累計 | 289,000 円 |
| 金の箱         | 1,040 円  | 累計 | 4,152 円   |

#### 第2463回例会

日時⇒ 平成26年8月29日(金) 点鐘12:30  
 卓話⇒ 『タンザニア体験記』  
 卓話者⇒ 弁理士 小林 博様  
 (元青年海外協力隊隊員)

#### 第2464回例会

日時⇒ 平成26年9月5日(金) 点鐘12:30  
 卓話⇒ 会員ミニ卓話

◆◆ 出席報告 (会員数50名)

|        |        |        |           |
|--------|--------|--------|-----------|
| 出席者数29 | 欠席者数21 | ビジター 2 | 修正出席率 62% |
|--------|--------|--------|-----------|

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

|        |   |           |                |
|--------|---|-----------|----------------|
| 千葉RC   | 月 | —         | 三井ガーデンホテル千葉    |
| 千葉西RC  | 火 | —         | センシティブタワー「東天紅」 |
| 千葉幕張RC | 火 | 9/9       | アパホテル&リゾート東京ベイ |
| 新千葉RC  | 水 | —         | 京成ホテルミラマーレ     |
| 千葉北RC  | 水 | —         | ホテルポートプラザちば    |
| 千葉中央RC | 木 | —         | 三井ガーデンホテル千葉    |
| 千葉港RC  | 木 | 9/11・9/25 | 京成ホテルミラマーレ     |

## 本日の卓話

演 題⇒『公式訪問ご挨拶 「原点回帰」を目指して』

卓話者⇒国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー 宇佐見 透様 (千葉幕張RC)



千葉南ロータリークラブの皆様  
こんにちは。

今年度 2790 地区ガバナー職  
を務めさせて頂いております宇  
佐見と申します。所属は千葉幕  
張ロータリークラブです。

皆様にはいつも御協力賜りありがとうございます。  
本日公式訪問させて頂きましたのは、2014-15 年度国  
際ロータリー会長ゲイリーホアン氏が提唱されましたテー  
マ「Light Up Rotary」を一刻も早く皆様にお伝えし、今年  
度方針にもとづきロータリーの目的を推進頂くよう結束頂  
きたく直接お話しさせて頂こうとの思いで公式訪問させ  
て頂きました。既に 3 月 8 日に開催しましたリーダーセミ  
ナー、3 月 29 日に開催しました PETS、そして 4 月 29 日  
に開催しました地区研修・協議会といういわゆる3大セミ  
ナーには竹尾会長、橋口幹事様ほかクラブ指導者の皆  
様に御参加頂き、ご理解を頂いたうえで、スタートをされ  
ておられると思います。ガバナーという身に余る職責で  
はありますが、誠心誠意努力致しますのでご支援ご協力  
の程お願い申し上げます。

2000 年にRIより地区に対し DLP(ディストリクト・リー  
ダーシップ・プラン) を検討する旨の要請がありました。現  
在 RI 理事会によりガバナーは地区組織を構成するう  
えで DLP の構成に準拠したものを確立するよう要請され  
ています。このことは現在会員減少に悩むクラブにと  
つて、少ない会員数の中でどの様にすれば活性化する  
のかを検討したものであります。即ち従来の4大奉仕委員  
会をベースに取り組みうとすると一人で何役もこなさねば  
ならない現実に突きあたります。そこで思い切った組織  
改革を考えようと取り組んだのが DLP です。

具体的に申せば

- (1) 社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトに関し  
ては全て「奉仕プロジェクト委員会」なる新組織で統  
括する
- (2) 増強を目的とした会員増強・退会防止委員会を新た  
に組織し会員選考や職業分類も含めた活動を行う。
- (3) 地域の人々に私たちの活動を具体的にお知らせす  
る広報公共イメージ委員会を新設しロータリーの友  
委員会や会報委員会ともコラボレートする活動を行  
う。
- (4) 親睦、出席、プログラムなど運営に関わる委員会は  
旧来のロータリー情報委員会をクラブ管理・運営委  
員会と変えこれら全てを統括する。以上4つの常設  
委員会と呼ばれる組織に大きく変えたのが DLP で  
す。青少年、財団、米山は旧来のままです。このよ  
うにすれば少ない会員のクラブでも活性化できるの  
ではと考えたのではないかと考えこれが CLP に繋  
がればと考えたのです。しかしこれを行うのはあくま  
でもクラブ自身です。実際の活動はクラブであり会  
員皆さんが主役なのです。

そこで私は、先程RIが DLP を中心にした地区組織検  
討するよう云われておると申しましたがこの DLP の先に  
皆さんの CLP があるとお考えください。ここが重要で今  
まで CLP のみ導入しろと話されても目的が見えなければ  
解らなくとも当たり前です。ですから今年度はまず地区  
組織を変え活動内容と目的をはっきり示すことにしました。  
ロータリーは単年度制ですから来年また従来の地区組  
織に戻るかも知れません。ですが私は次年度の櫻木エ  
レクトにこのことだけは変えないで欲しいとお願いして  
おります。くどい様ですがガバナーとして、クラブの皆さん  
の理解を得ながら変革を試みようと考えています。研修  
リーダーにもお願いし、DLP の確立のもと各クラブでそれ  
ぞれ、独自に検討、取り組まれている CLP(クラブリー  
ダーシッププラン)の明確化に繋がればと考えています。こ  
の後のクラブ協議会でも CLP の目的と地区における  
DLP の位置づけから何故、今必要なのかなど、ご意見  
を伺えればと思っております。

1905 年の発足以来一世紀を越えるロータリー活動に  
は、時代の変化と共に変わった部分もあると思いますが、  
変わらぬ原点は職業奉仕にあると考えます。私にとって  
ロータリーとは、自らの職業を通しての倫理運動であり地  
域社会への貢献を基本に根ざすものであると考えます。  
定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎とし  
て、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにあり」と明記さ  
れております。ロータリアンを侍に例えた場合、職業奉仕  
とは、武士としての象徴を示す刀のような存在と思ってい  
ます。侍は研鑽を重ね武士となり、帯刀を致しますが但  
しこの刀は戦(いくさ)の道具では無く、武士としての気  
構えの象徴です。ロータリアンの持つ刀は、自分を律す  
る気持ち、又は誇りとして、自らの心の中に置いておく  
べき物でありロータリアンの心に宿る刀はロータリアン同  
士の厚い信頼関係基づく不可能を可能に変える存在だ  
と思います。キーワードは「和して同ぜず」です。「和する」  
すなわち友となり仲間となることは大変すばらしいことで

あり皆で一緒に取り組み大事を成す事は大切です。しかし同時に、“同ぜず”が大切で「他人の意見に惑わされる事無く、自分の意見をしっかり持たねばならない」と考えます。「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」の2つをモットーにロータリーの復活による「原点復帰」を次年度テーマに、皆様の御協力のもと地区運営にあたってゆきたいと思ひます。

ロータリーは今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆくという考えから、**変わりながら続けてゆく事の大切さ**を、改めて考えて頂きたいと思ひます。ロータリアン同士、職業奉仕を心に携えてゆけば、ロータリーは再び新たな羽根を持ち大空に飛び立てる時が来ると確信しております。

**会員増強**についてホアン会長は新会員を引き付けけると共に、現会員を維持し、世界で 130 万人への会員拡大を目標にされています。会員増強について、会員数の数字だけにこだわり「数は力なりの原則のもと、会員を増やせ増やせとスローガンが掲げられますとすぐさま反発する形で「質」と「量」の議論が発生します。更に悪いのは、質か量かという命題を並べて、出来ない理由を議論し、やらない理屈を語る事です。増強問題は出来ない理由を語るマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切だと思ひています。今年度の増強目標は地区に因んで 2790 名とし、各クラブに純増1名をお願いします。

**広報公共イメージ活動**でロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催して下さることを願っています。そこで私たちは、社会貢献という共通意識のもと、互いの絆を深め、時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを広報下さい。私たちは「行動の人」であり、同じ目的意識を持つ人たちと協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、同じ様に地域社会のことを考える人びとを見つきたいと願っていることを伝えることが重要と考えます。

にもかかわらず、認知度が低いと感じます。ロータリーが何を目的とし、何をしているかを知らなければ、入会しようという人や、協力しようという人がいないのも当然です。確固とした、好ましい公共イメージは、単にロータリーの気高さを高めるだけで無く、それによって奉仕志向の会員が増え、ロータリーの活動をさらにレベルアップする重要な戦略だと思ひます。

**青少年奉仕活動**について地域の方々及び学校教育機関の協力、顧問教師の方々の思い、御父兄の理解が必要で、信頼関係が無ければ成立しません。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ等での四委員会が「ロータリーデー」への参加を通じ、それぞれどのようにして地域社会との融合を保つ参加が可能なのか御検討下さい。未来のロータリアンを育成しましょう。

**米山記念奨学会事業**は日本で学ぶ外国人留学生にロータリアン自身による寄付金を財源とした奨学金を支給する事業で、日本独自の特色である「カウンセラー制度」「世話クラブ制度」が重要であると考えます。クラブとして「世話クラブの登録」「カウンセラー登録」を理解いただき、ぜひ米山記念奨学会への寄付目標である通常寄付と特別寄付の合計で一人 15,000 円達成をお願いします。

**最後にポリオ撲滅に関して** 1979 年に始まったポリオ撲滅運動も 35 年におよぶ活動で、世界で 3 ヶ国(パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア)を残すのみとなりました。しかし本年 5 月 5 日に WHO はカメルーン、シリアなど非常在国からの発症報告に基づき「緊急事態宣言」を出しました。医師団が内戦に巻き込まれるなど予断を許さない状況でもあり国際的連携と取組みが求められています。当地区では毎年1人あたり 25 ドルをお願いしております。

《会報当番：松尾博之会員》

(ガバナーを囲んで↓)

